

防府市文化協会だより

防府市文化協会
(防府市文化財郷土資料館3F)
TEL/FAX 26-6841



【中関塩浜唄の会による太鼓演奏：平成27年6月19日（金）防府市文化福祉会館にて】

防府市文化協会の使命の再認識を

会長 岡田 利雄



国内外の先行きが誠に不透明な時代、そして、少子高齢社会、高度情報社会の急速な進展や自然災害の頻発する環境の中にあつて、我々一人一人に心の安らぎと将来への夢を与えてくれ、さらに、地域を活性化する大きな力をもつ芸術・文化の役割は、ますます重要となつてきております。

防府市文化協会は、平成十年に設立され、協会の使命や活動の目的について『宣言』を行いました。それは、『芸術・文化を通じて市民の文化意識の向上を図ると共に、自主的な文化活動を促進し、人間性豊かな心のふれあいによる、薫り高い文化に富んだまちづくりに貢献すること』でありました。そして、十八年間にわたり、後記の事業を力強く推進して参りました。

①市民の芸術・文化発表事業（市民文化祭の開催、市民芸の実施等）、②各種芸術・文化の研究・啓発事業（山頭火小冊子の発刊、山頭火かるたの作製等）、③各種文化団体との連絡調整事業（総会・諸会議の開催、文化協会だよりの発行等）、④市民文化活動支援・奨励事業（メセナ活動による市民の芸術・文化活動の支援、各種表彰等）

これらの事業は、市ご当局的温かいご支援のもと、現在も継承・発展され、市民の芸術・文化活動の振興に大きな貢献をしております。

防府市文化協会は、これからも、『防府の芸術・文化の向上』と『地域の活性化』を目指して、たゆまぬ研鑽と努力を続けて参ります。

今後とも、会員の皆様、並びに、市民の皆様の一層のご指導・ご鞭撻を願ひいたします。

平成二十七年
防府市文化協会総会概要

平成二十七年六月十九日(金)
十三時から防府市文化福祉会館
三階四号にて、第十七回総会が
開催された。

開会に先立ち、祝儀舞吟舞『祝
賀の詞』が、「舞」日本吟舞曾光
流二代目宗家 曾光 可恵様、
「吟」岳誠流日本吟道防府岳誠会
師範 林 昭岳様、「尺八伴奏」
都山流尺八楽竹琳軒大師範 小
林 範山様より披露され、その
後岡田会長の挨拶があった。

平成二十七年文化振興奨励
賞(個人四名・団体二団体)と
平成二十六年度市民文芸表彰(川
柳・俳句・短歌・自由律俳句)
の授与式が行われ、松浦市長、
岡田会長より表彰と記念品が贈
呈された。市長から祝辞と激励
の言葉を頂戴し、続いて事務局
より平成二十六年度の事業報告
と決算報告、平成二十七年の度
の事業計画、予算が報告された。

その後、防府市文化協会創立
十七周年記念として、民俗芸能
分野より、中関塩浜唄の会によ
る太鼓演奏が上演された。太鼓
演奏にあわせた踊りも披露され、
振りを真似ながら楽しく鑑賞、
無事閉会した。

平成二十七年
防府市文化振興奨励賞

防府市文化協会表彰者一覧表

(個人の部)

氏名	年齢	部門
西山 森作	83歳	民俗芸能
窪田 耕二	75歳	文芸
久保 聲邦	73歳	邦楽(箏)
竹中 俊二	64歳	音楽

(団体の部)

団体名	代表者氏名	部門
日本吟舞 曾光流曾光会	曾光 一恵	邦楽 (詩吟)
十二の舞保存会	松岡匡太郎	民俗 芸能



サルビア〈防府市の花〉

平成二十六年
市民文芸表彰者

◎川柳の部

◎市民文芸賞 松村 玲子

◎年度賞

追戸町 佐藤 哲夫
西浦 山本 ミネ
新田 坪郷英美子
田島 田邊千寿子

◎俳句の部

◎年度賞

自由ヶ丘 春吉 智子
国衙 田中 裕子
富海 藤田 玲子
富海 関谷 和子
国衙 山村さだ子

◎短歌の部

◎市民文芸賞

佐野 余園 岡子

◎年度賞

天神 財間由美子
本橋町 粟本 房子
自力町 河野美津子
華浦 河野 豊子

◎自由律俳句

◎市民文芸賞

江泊 丹後日出雄

◎年度賞

伊佐江 清水 俊子
奈美 倉床 節子
今市町 河野 楡平
千日 江内キヨ子

市民文化活動
支援事業部会報告

平成二十七年
平成二十七年
平成二十七年

◎第一回支援事業部会

・五月七日(木)

- ・平成二十六年事業経過報告
- ・同収支決算報告 監査報告
- ・平成二十七年事業計画
- ・平成二十七年予算案

◎支援事業部会会員

・加入社・個人 計三十二口

◎第一回支援事業部会・審査会

・七月九日(木)

- ・助成金決定 二事業 (十万五千元)

〈助成対象事業〉

- ・防府映像サークルによる第二十二回ビデオ作品上映会
- ・防府詩の会による第九回山口県総合芸術文化祭やまぐち県詩祭防府

◎第二回審査会

・十二月十日(木)

- ・助成金決定 一事業 (十万元)

〈助成対象事業〉

- ・最新版リーフレット「野村望東尼ゆかりのまち防府」の作成配布事業
- ・平成二十七年助成金合計 二十万五千元

市内唯一の詩の会

会長 佐藤 文彌

平成二十七年十一月二十三日、市内「松月」にて第九回山口県総合芸術文化祭（第十五回山口県詩祭）が行なわれました。講師には「山頭火ふるさと会」代表であられる窪田耕二氏を迎え「金子みすゞと山頭火」という演題で独自の詩論を展開され伊達英二代表による「山頭火讃歌隊」には優雅な演奏で大会を盛りあげていただきました。会員数も減りつつける現状での大会、不安もありましたが、防府市文化協会をはじめ皆様の協力もあって無事終ったのですが、次に続く啓発活動を如何に進めると言う重い議題は依然として残ったままです。防府詩の会は平成元年に以前あった「のぎくの会」と言う詩の会を引き継ぐかたちで始まり、市内駅天神口近くの喫茶店ニユーロンドンにて偶数月に一回合評会を行ない、年刊詩集として「珊瑚樹」を年一回発行しております。その年刊詩集も昨年で四十二号を数えました。「現代詩を通して会員相互の親睦を深め、詩作活動を通して地域活動の文化向上に貢献する」と言う理念は全々ぶれておらず。今現在防府市内では唯一の詩の会です。詩について興味のある方、ご一報下さい。二三―八八三九

佐藤まで。



防府市美術連盟のこれから

会長 岡田 博幸

防府市美術展は昨年度六十五回目を迎え、節目としての記念展を開催しました。例年の各賞に加え「六十五回記念賞」を設けて出品への喚起と美術への興味、関心を一層持つて貰うことに努めました。出品者の増加はわずかでしたが、質の高い作品が増え、市美展としては非常にレベルの高いものになりました。初めて出品を考えている作家にとつては、ハードルの高いものになったようです。出品者が増えることは大事なことです。個人的で創造性豊かな作品が増えることも重要です。市美展がお互いに技を研ぎ向上して行く場となれば幸いです。

昨年度は下尾周男前会長や安沢秀浩常任理事が亡くなられた大きな財産を失った感じでした。防府市美術連盟は、これからも若い作家を育て、活力ある芸術文化都市を築き上げて行くために微力ですが、その一翼を担って行きたいと思えます。

また、私たちは一刻も早く、美術館を建設し、散逸している先人の作品を保存し、鑑賞することによって一層の芸術文化の振興を図ることができると考えています。文化都市として美術館は最低必要条件だと思います。



発足五十周年を迎えて
新たな旅立ち

防府市文化協会常任理事 石川 功

昭和四十二年一月新春早々、防府市公会堂で、「防府アマチュアバンド連盟」が「アマチュアバンド・フェスティバル」と銘打って旗揚げ公演を開催して、既に五十年を迎えた。現在は「防府音楽連盟」と名称変更し、現在に至っています。この間、防府の文化を高める会が発足し、防府市文化協会へと発展し、防府産業祭が防府まつりへ。

駅前にあすぴラートが開館し、春にあすぴラート・フェスティバル、秋に市民音楽祭や、市民文化祭が賑やかに開催されている。

先輩達の話聞くにつけ、市民文化の様変わり、また発展には、目を見張るものがあります。本連盟と致しまして

は、この間に市内外の多くの皆様に支えられ、ご助言、ご鞭撻を頂き感謝致しております。

市内の音楽愛好家の皆さんの演奏や練習活動を通して、手を取り合って、地域文化の一助に成ればと、今後とも頑張りたいと思っております。



和歌奈会の『和』

和歌奈会代表 山野歌奈女

箏曲は長い歴史の中で、生田流と山田流という大きな二つの流れで伝承されて来ました。それぞれに沢山の会派がありますが、和歌奈会は「生田流、筑紫云」に所属しております。

昭和三十三年に入門し、その美しい音色と、限り無い可能性に魅せられ、気が付けば六十年近くが過ぎました。人生の殆どを箏と共に生きてきましたが、和歌奈会創立後に「邦楽舞踊連盟」「文化協会」の大きな傘の中で、一個人一社中では難しいことも助けて頂き、今日の和歌奈会が存在致します。

「邦楽の会」をはじめ様々な演奏活動は、日々の練習も何倍もの効果となり邦楽の未来へ続く原動力となります。昨年五月、「都山流尺八楽創始百二十周年記念演奏会」が京都で開催され、和歌奈会も京都コンサートホールの素晴らしい舞台上で演奏の機会を頂き、若い会員の今後の励みとなりました。若さも大きな力の和歌奈会は、少々老境に入り動きの鈍くなった師匠の分を、皆で文字通り和歌奈会の「和」をもって力を合わせ進めてくれており、その様子はとても頼もしく思います。

箏曲演奏家として東京を拠点に国内外を飛び廻っている娘、山野安珠美も、スケジュールを調整して帰省。演奏の指導や行事の運営などに力を貸してくれており、これもまた心強いことです。

これからも防府市の邦楽の隆盛を願って、微力ながら和歌奈会も皆様と共に頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



表現の磨き

会長 竹尾耶衣子

昨年は、ねりんピックが山口県で行われ、防府では健康マーじゃんと剣道の試合がありました。十月十七日から三日間、街でも盛り上げようと天神ピアで催物をする事となり、第一日を洋舞の会で、という事でダンスを披露する事になり、その第一日は公会堂で洋舞フェスティバルが開催されており、四時に終り夕方六時より天神ピアでダンスを披露致しました。昼夜踊って頂いた四団体のみなさまには感謝しております。芸術とは自分の心の表現を色々な形で表わしていくのであって、私達は舞台表現となります。見に来て下さったお客様が感動して頂けるような、美と可愛らしさが心に残ればと思います。一番の舞台演技は誰も、手伝えるが出来ません。一瞬々が命です。又、団体は全体の中の個であってまわりとのバランスを学ぶ。自分の役目をしっかり果す責任があり、子供の時からこのことを学べるのは幸せであり人間的に素敵に成長していける事でしょう。文化協会の一会として誇りを持って生きられたら幸せです。



盛況だったビデオ作品発表会

会長 清澄 邦夫

昨年十月十八日、二十回目のビデオ作品発表会を行いました。会場も「イオンシネマ防府」の支配人の格段のご配慮により、二百人席を用意して頂き、百八十人のお客様が入場されました。例年利用していたルルサスの多目的ホールはNHKの大河ドラマ「花燃ゆ」の展示場となつたため、年初めからイオンシネマ館と交渉、市文化協会市民文化活動支援事業部の援助を頂いて作品発表会となりました。皆様方に心からお礼申し上げます。本格的な会場の迫力のある大画面にお客様のみならず私どもも大感激でした。

上映作品は「福来朗」梶山淳子、「駅前時計」村本昭重、「映像日記」市川泰毅、「東北旅行」石丸恵子、「花供養」國廣春爾、「大山登山の想い出」金重道子、「ふるさと防府宵の彩景」藤原繁男、「山頭火全国大会の歩み」窪田耕二、「開花中（えひめあやめ）」米倉弘、「航空ショー」清澄邦夫、「三田尻の女相撲」河村和子、「癒やしの国ラオス」西村一、「夫婦で守る末田のけむり」大野進、「十三作品」でした。来場者のアンケートもたいへん好評でした。サークルのメンバーも大幅に増え、女性四人男性十六人の大所帯になりました。

今年は、十月二十九日（土）十三時三十分から、昨年同様のイオンシネマ防府を予定しております。今年の課題は、動画の撮影・編集について基本に戻り、みんなで勉強していきたいと思っております。

私たちのモットーは「楽しく撮って、楽しい作品を」です。関心のある方はお気軽に会場へお越しください。

※月例会と入会のご案内
毎月第三金曜日十四時三十分から
松崎公民館
入会者大歓迎「とくに初心者」
連絡先：清澄邦夫
電話二四一三八一六
(周南労務管理センター内)



防府野村望東尼会

今年も野村望東尼の百五十回忌を迎えます

会長 岡本早智子

昨年は、望東尼（ぼうとうに）をよく知って頂く年にしたいと、四回シリーズで望東尼の生涯を辿る学習会を開きました。講師の谷川佳枝子先生のご協力もあり、参加者が多く、とても充実した学習会となりました。最終日には、三百人以上の方が天満宮参集殿で「山口・防府での晩年の望東尼」について熱心に聴講され、四十五人の方が全回参加修了されて、まさに、今が旬！の幕末学習会になったと、喜んでいきます。

この学習会をとおして市民のみならず、頂いた大きなエネルギーを、今年はそのまゝ、百五十回忌記念事業へと注ぎ込みながら、現在、鋭意その推進に当たっているところです。

記念事業の計画は、記念歌碑の建立（桑山・四月）、記念誌「望東尼物語」の刊行・配布（子どもから大人まで読める本づくり・九月刊行）、記念祭の開催（十一月六日（日）、アスピラート）となっています。

防府野村望東尼会としては、これらの記念事業のより良い推進をとおして、市民の皆様が望東尼の遺徳をしっかりとお伝えしたい。そしてそれらの顕彰が、世代を越えて親から子へそして孫へと繋げられていくことを願っています。

どうぞ、このような今年の記念事業について、ご理解とご協力をお願いいたします。



防府茶道連盟

文化茶会 一期一会のお茶一服

代表 國貞喜美江

秋色濃い十一月六日から九日までの四日間、第四十六回市民文化茶会が開催されました。前日四流派の方々による会場設営、諸準備に始まり（最終日は同様に後片づけ）次記の日程により茶席が設けられ、お客様をお迎えしました。

十一月六日 金曜日 三葵亭賣茶流

十一月七日 土曜日 表流防和会

十一月八日 日曜日 専心小笠原流煎茶

十一月九日 月曜日 裏千家

連日好天気に恵まれ、約八百五十名の方をお迎えしました。日常の慌ただしさの中で気軽に一服のお茶に喉を潤おし、花を愛で、忙中閑ありの一刻が市民文化茶会なればこそと思えます。各流派による茶席のしつらえ、床飾り、お点前など雅味溢れる場の雰囲気は四〇〇年の伝統に培われた一端を感じることもあります。

近年、お子様の茶人口が増えたようです。ご家族と一緒に子どもさんが「美味しかったよ」の声になごみを覚えます。気負うことのない茶席で「おもてなし」の心をつなげて一碗のお茶を差し上げるよろこび、一期一会の出会いを大切にお客様が又来年もと仰言って下さることを期待しています。今後も市民文化祭の発展を願い併せて茶文化の高揚に精進したいと思えます。ちなみに二十八年度文化茶会は十一月十一日（金）十三日（日）の三日間です。



防府民俗芸能連盟

連携と保存継承

会長 桑原 一朗

防府民俗芸能連盟は、市内に古くから伝わる民俗芸能、また新しく誕生し、今から将来に向け伝えて行きたい民俗芸能を守り伝承しようと活動している団体が、連盟を組織し活動しています。

年に一回、或いは三年に一回、お祭りでも上演している団体。色々な市内外の行事で、演奏・上演・ご披露している団体と形態は様々であります。

連盟として合同の大きなイベントは、五年ごとに、アスピラートで開催される、文化協会の総会開催に併せて、数団体の公演を上演して、各団体の地域での活動を、市民の皆様の前でご披露しています。

前は、「塩浜」をテーマに企画・上演しました。次回は何をテーマにして、出演団体・本連盟のメッセージを皆様へ伝えようかと、現在検討段階に入っています。

文化協会の一員として、防府市の文化向上に寄与したいと思っております。ご支援・ご助言を宜しくお願い致します。



防府市退職校長会

地域協育ネットの充実のために

副会長 山根 郁夫

防府市退職校長会（会長 鈴木隆子 会員数一七二名）は、「児童生徒の教育に携わった経験を生かして、学校・家庭・地域との連携のもとに、学校や地域の教育力のより一層の向上に寄与するとともに、会員相互の親睦と福利厚生の実現に努める。」を活動の基本理念に掲げています。

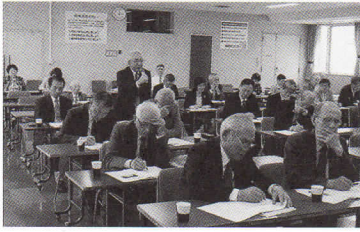
本会は、市内十三地区からなる会員組織で構成されており、それぞれの地区で銘々の自覚に基づいた個人活動や組織的な活動を展開しています。

五月には定例総会を開催し、活動方針を共通理解した後、引き続き、ご来賓の防府市教育委員会、防府市小中学校校長会関係各位を交えての教育懇談会や情報交換会を行っています。

ここでの、意見や提言を参考に、それぞれの地区や個々の会員の実情に応じた教育支援活動を行っています。

現在、市内全小中学校でコミュニティ・スクールが推進中であり、学校運営協議会を母体とした地域協育ネットによる協働教育推進体制の確立に向けた取り組みが進捗中です。

本会では一地域住民として、教育に携わった経験を生かし、放課後教室、学校行事支援、授業中や放課後の学習支援等の教育支援活動に積極的に協力するよう努めて参る所存です。



支援事業部のご紹介

市民文化活動支援事業部会

部長 深田 慎治

支援事業部会は、防府市に所在する企業・個人等（防府市外に在住する防府出身者を含む）が参加して結成する組織で、防府市内で実施する文化・芸術等の活動を支援し、市民の文化・芸術の向上を図るとともに、潤いのあるまちづくりに貢献することを目的としている。

その為に、事業部では、防府市に在住する団体及び個人が、防府市で開催する文化・芸術等の活動に対する助成を行う。

助成金の交付を受けようとする団体等は、市民文化活動支援事業部会へ、六月末日、十一月末日に、支援事業部助成金交付申請書に揚げる書類（一、事業計画書 二、事業収支予算書 三、団体概要書）を添えて提出する。

申請書の提出があった場合は、審査委員会を招集し、審査員の審査を経て当該申請書に係る事業につき、助成金の交付が適当であると認めるときは、その旨を申請者に通知する。

助成対象事業として、①音楽・美術・文芸・演劇などの創作、公演、展示、鑑賞の場づくり、②歴史的街並保存等の文化的な環境づくり、③文化財・伝統芸能の保存伝承となります。

支援事業部会では、平成十二年度から、平成二十七年まで約八十件近くの支援を行ってきました。希望団体は、お気軽に問合せ下さい。

募集

市広報の市民文芸欄への投稿について

防府市文化協会では、市広報の市民文芸欄への投稿を広く募集しています。

《部門》

* 川柳・俳句・短歌・自由律俳句

《作品》

* 同月一部門のみで3句（首）までに限ります。

* 各公民館・図書館・アスピラート・文化福祉会館・市役所に設置してある投句用紙又は官製はがきに、楷書で記入し、漢字にはすべてふりがなを必ず記入して下さい。ファックスでの応募も可。

* 住所・氏名・電話番号を記入して下さい。

* 毎月末日消印締切とします。

* 新聞・雑誌等に未投稿のものに限りません。

* 二重投稿及び一度市広報に掲載されたもの不可。

* 一句の中で仮名遣いは新旧のどちらかに統一してください。

* 投句された句は、選考・校正・印刷等の都合により3ヶ月後の市広報に掲載されることとなります。

《送り先》

〒七七四七-〇八〇八 防府市桑山二丁目一

防府市文化財郷土資料館三階 防府市文化協会

年間で優秀な作品は、文化協会の総会にて表彰されます。

皆様の投稿をお待ちしております。

平成二十八年事業計画

- 六月十八日(土) 文化協会 総会
- 七月十六日(土) 市民自由律俳句大会
- 九月 四日(日) 市民俳句大会
- 十月二日(日) 市民短歌大会
- 十月十五日(土) 市民文化祭
- 十月十六日(日) 山野草・盆栽展
- 十月二十二日(土) 市民文化祭
- 十月二十九日(土) 市民文化祭
- 十月三十日(日) ビデオ作品上映会
- 十一月六日(日) 市民文化祭 市民音楽祭
- 十一月十一日(金) 市民文化祭 邦楽の会
- 十一月十三日(日) 市民文化祭 華道展 健康相談 お茶席
- 十二月七日(水) 市民文化祭
- 十一月十一日(日) 第六十六回市美展

平成28年度 防府市文化協会役員

○=常任理事

役職	氏名	選出母体
会長	岡田 利雄	個人会員
副会長	小林 範山	都山流尺八楽範山会
副会長	竹尾耶衣子	ヤエコ&リズムダンス
監事	坪郷 久栄	個人会員
監事	清澄 邦夫	防府映像サークル
○常任理事	理事	選出母体
新○	佐藤 文彌	防府詩の会
新	藤井 三男	フォトフレンズ写意
新	佐古 淳子	防府市美術連盟
新○	山田 如仙	西日本墨仙会
新	竹内 亮	防府市民合唱団
○	石川 功	防府音楽連盟
	中尾 岳奨	防府邦楽舞踊連盟
○	若柳吉冬貴	吉冬貴の会
	山野歌奈女	和歌奈会
	徳本喜美恵	ルルベ
新	福田 育恵	イクエフラ PDC

○常任理事	理事	選出母体
○	岡本早智子	防府野村望東尼会
新○	高橋 瑞峯	防府市華道連盟
新	國貞喜美江	防府茶道連盟
○	桑原 一朗	防府民俗芸能連盟
新○	坪郷 好夫	華浦地区社会福祉協議会
新○	斎藤 智	日本郵趣協会防府支部
○	窪田 耕二	個人会員
	新山王 哲	個人会員
新	中川 栄治	小学校長会
○	河村 俊之	中学校長会
○	深田 慎治	昇陽堂薬局
	鈴木 宏明	防府天満宮
	脇 幸典	防府青年会議所
○	杉江 純一	総合政策部文化・スポーツ課長
	湯面 栄二	(公財)防府市文化振興財団地域交流センター館長

事務局 岡崎久美子

文化協会会員募集

防府市文化協会は、みなさんの文化・芸術に関する発表事業及び研究・顕彰・啓発事業のお手伝いをする団体です。

- 《年会費》
- 団体会員(第一号会員) 三千元
- 個人会員(第二号会員) 千五百円
- 《会員の特典》
- *個人会員
- *団体会員

- ① 年一回の主催事業への無料招待及び割引招待
- ② 文化福祉会館・公民館の施設(文化福祉会館大会議室を除く) 月一回一区分無料利用

ただし、電気代等実費利用分は有料となりますので申し込まれる時に必ず各施設にご確認ください。

《入会方法》

「入会申込書」に会費を添えて文化協会事務局へ。なお、団体会員については、会員名簿(氏名のみ)を必ず添付してください。

《期 限》

年度の4/1～翌3/31までの一年間(年度ごと更新)

《問合せ》

防府市文化協会事務局
(防府市文化財郷土資料館三階)
TEL/FAX:二二六一六八四一

編集

- 委員長 窪田 耕二
- 委員 竹尾耶衣子
- 岡本早智子
- 佐藤 文彌
- 高橋 瑞峯

発行

〒七四七-〇八〇八

防府市桑山二丁目一-一
防府市文化財郷土資料館
三階 防府市文化協会
TEL/FAX〇八三五
(二六) 六八四一
平成二十八年五月

編集後記

新しいメディア時代で文化活動も大きな環境変化の時代をおかえています。

文化協会傘下百六十四団体、各分野より、代表で会の現況及び活動の状況等について「協会だより」への投稿を、お申し込み、予定通り刊行の運びになりました。

本紙は文化協会加入団体の情報交流をより深めるため、今年度より5月、9月、2回の発行をすることになりました。各会のPR宣伝も兼ねて、ご投稿くださいます様、よろしくお願い申し上げます。